

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人海洋研究開発機構運営費交付金に必要な経費	担当部局庁	研究開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～	担当課室	海洋地球課	海洋地球課長	井上 諭一		
会計区分	一般会計	施策名	X-3 環境・海洋分野の研究開発の重点的推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人海洋研究開発機構法第17条	関係する計画、通知等	海洋基本計画(平成20年3月 閣議決定)等				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平和と福祉の理念に基づき、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより、海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	上記目的を達成するために、①「地球環境変動研究」、②「地球内部ダイナミクス研究」、③「海洋・極限環境生物圏研究」及び④「海洋に関する基盤技術開発」の4つの重点研究開発を推進するとともに、研究船や「地球シミュレータ」等研究施設及び設備を科学技術に関する研究開発または学術研究を行う者の利用に供する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	38,431	38,560	36,337	36,028	37,142
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	38,431	38,560	36,337	36,028	37,142
執行額	38,431	38,560	36,337				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	独立行政法人評価委員会による評価結果(海洋研究開発機構の行う事業は中期計画及び年度計画により定性的、定量的な目標を定めており、毎年度、独立行政法人評価委員会による達成度の評価を受けているため、これをもって成果実績とする。)	成果実績	-	S:2/14項目 A:11/14項目 B:1/14項目	A:11/14項目 B:3/14項目	S:1/36項目 A:34/36項目 B:1/36項目	-
*S:特に優れた実績を上げている、A:達成度100%以上、B:達成度70~100%							
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	○地球環境変動研究 ・地球環境変動の解明のための海洋観測等実施実績 ・地球環境予測研究の実施実績	活動実績		<ul style="list-style-type: none"> 船舶による観測航海、漂流ブイや係留系による観測等を実施し、地球環境変動に関する研究を行い、GEOS等の国際計画に貢献している。(Argoフロート展開数:H20:80基、H21:50基、H22:58基/トライトンブイ:15基を維持(H20~22)) IPCC第5次評価報告書に向けた予測を行うための研究を実施。また、エルニーニョ現象等、地球全体の気候変動に影響を及ぼす熱帯域の現象について予測に成功するなど、予測モデル構築、検証のための数値実験を継続的に実施。 			
	○地球内部ダイナミクス研究 ・地球内部ダイナミクス研究の実施実績	活動実績		<ul style="list-style-type: none"> 地球表層から中心核に至る固体地球の諸現象についての研究を行い、地震・火山活動の原因、島弧・大陸地殻の進化、地球内部の挙動と地球環境変遷の相関性等についての知見を蓄積してきた。南海トラフ地震発生帯掘削計画においては「ちきゅう」により得られた掘削試料や海底構造探査データ等から、巨大地震を引き起こす巨大分岐断層の形成過程を解明した。また、海底地震観測等からマントルに沈み込んだ海洋プレートが地下深くで割れていることを発見するなど成果を挙げている。 			
	○海洋・極限環境生物圏研究 ・海洋・極限環境生物圏研究の実施実績	活動実績		<ul style="list-style-type: none"> 主に深海や海底下といった極限環境に棲む生物について、その多様性や生態等の研究を行い、生物多様性研究、有用物質の探索等に関する知見を蓄積してきた。日本近海は生物多様性が極めて高いことを明らかにし、国際的な研究プログラム、海洋生物のセンサスに大きく貢献した。また、海底の堆積物中の微生物について、高温や高重力環境下での培養実験の実施等により、新たな代謝プロセスを発見するなどその生態等を明らかにした。深海・地殻内の微生物、深海底等から得られた微生物等を9,000株保管し(H22年3月現在)、生物資源としての調査研究を進めている。 			
	○海洋に関する基盤技術開発 ・先進的海洋技術研究開発、次世代型深海探査技術の開発の実施実績 ・深海底ライザー掘削技術の開発の実施実績 ・総合海底観測ネットワークシステム開発の実施実績 ・シミュレーション研究開発の実施実績	活動実績	(当初見込み)	<ul style="list-style-type: none"> 長距離音響通信技術、全周画像システム等の先進的要素技術や、次世代型巡航探査機及び大深度高機能無人探査機に用いるための各種技術を開発した。 12,000m級ドリルパイプの開発、大深度掘削に伴う耐熱技術開発、強潮流下でのライザーの疲労を評価、監視するシステムの開発等、大深度掘削に向けた技術開発を行った。また、長期孔内観測に向けた技術開発を行い、平成22年度に設置に成功した。 次期地震津波観測監視ネットワークに向けて、送電方式、高耐電圧化等の要素技術等の開発を行った。 予測研究に用いる計算モデルの高速化、高精度化に資する研究開発を行った。また、大規模シミュレーション結果を社会へわかりやすく発信するプロジェクト「EXTRAWING」を立ち上げるなど成果の発信に関する開発を行った。 			
	○統合国際深海掘削計画(IODP)の総合的な推進 ・地球深部探査船「ちきゅう」の運用実績	活動実績		<ul style="list-style-type: none"> 地球深部探査船「ちきゅう」の運用実績 H21:南海トラフ地震発生帯掘削計画の2回の航海を実施。科学掘削史上初のライザー掘削に成功した他、海溝型巨大地震の原因解明の鍵をにぎる巨大分岐断層の掘削、試料の採取等を行った。 H22:南海トラフ地震発生帯掘削計画の3回の航海を実施。長期孔内観測装置の設置に成功する等の成果を挙げた。また、沖縄の熱水域での掘削を実施し、海底下の熱水の滞留を発見した他、黒鉱を含む試料の採取等、熱水鉱床の成因解明に繋がる成果を得た。 			
	○科学技術に関する研究開発または学術研究を行う者への施設・設備の供用 ・船舶の供用実績 ・深海探査システムの供用実績 ・「地球シミュレータ」の供用実績	活動実績		<ul style="list-style-type: none"> 船舶7船の運航日数 H20:1,685日、H21:1,895日、H22:1,960日 「しんかい6500」「ハイパー7000」「かいこう7000 II」の潜航回数 H20:249回、H21:225回、H22:256回 「地球シミュレータ」の使用ノード状況(計画停止を除く) H20:約90%、H21:80%以上、H22:約91% 			
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠	<ul style="list-style-type: none"> 実施する全ての事業について、コスト削減、業務効率化等の観点から、過年度の費用実費なども踏まえつつ、横断的に業務計画案の確認を行うなど、効率的な事業の実施に努力している。 また、調達にあたっては、これまでの調達実績をデータベース化するとともに他機関における調達実績も活用した調達コストの削減、外部有識者による契約監視委員会による透明性の確保等により、調達コストの妥当性を確保する仕組みを構築している。 これらにより、効率的な予算執行、コスト削減を図った上で成果の創出に努めている。 				
24年度予算	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	独立行政法人海洋研究開発機構運営費交付金	36,028 百万円	37,142 百万円	東日本大震災からの復興の基本方針に基づく研究開発に伴う増			
	計	36,028 百万円	37,142 百万円	【東日本大震災復興関連事業 要求額1,050百万円】			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、以下の対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 船舶の運航については、各年度の運航計画(調査内容や、海域、外航数・内航数が異なる等)により経費が変動するものの、保有船舶の老朽化が進んでいることから、保守整備費用は毎年増加しているところである。こうした状況下において、当機構は船舶のメンテナンス方式を見直し、効率化を図るとともに、運航体制の合理化を進め、淡青丸の運航については平成23年4月より外部へ委託している。また、船用品等消耗品については、経費削減に努めている。 契約の競争性、公平性、透明性の確保については、平成22年4月に「随意契約等見直し計画」を策定し、適正化に努めている。競争参加条件については、仕様書において過度の要件をかけないようにする等の取り組みを行ってきたところであり、一般競争入札の公告に関しては、「入札参加者心得」をホームページに掲示し、機構における契約や入札条件を広く公表するとともに、新規参入者を増やす取り組みを行った。さらに、研究開発等の特性に応じた調達仕組について、他の研究開発法人と協力してベストプラクティスを抽出に向けた検討を行っている。 昨年11月の事業仕分け等をふまえ、外部資金による資源探査(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構による海洋産出試験のための海底ボーリング調査で行う掘削作業)を実施する等、自己収入の拡大に努めた。 単独で賃借していた東京事務所については廃止し、平成23年3月末までに、日本原子力研究開発機構、理化学研究所と同一のビル内に移転し、一部会議室の共用化を図る等、事務所に係る規模・経費を合理化して縮小した。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<ol style="list-style-type: none"> 事業評価の観点:この事業は、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等に取り組む海洋研究開発機構の運営に必要な運営費交付金を支出するものである。 所見:「ちきゅう」を含む船舶等の運航経費や運航支援体制の見直し等を行いつつ、昨年のお他事業に対する公開プロセスでの指摘等を踏まえ、引き続き、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性の確保等により、事業の効率化を一層進めるとともに、過去の事業仕分け等を踏まえ、自己収入を拡大すべきである。 		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>事業実施にあたっては引き続き、船舶等の運航を含む事業の効率化や見直しを一層進め、概算要求に▲551百万円反映した。また、契約については、「随意契約等見直し計画」の策定、入札への新規参入業者を増やす取り組みを行う等、競争性、公平性、透明性の確保に努めた。自己収入については、科学掘削の推進に影響を及ぼさない範囲で外部資金による「ちきゅう」による資源探査のための掘削を実施する等、拡大に努めた。</p>			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

文部科学省
36,337百万円

事業概要
独立行政法人海洋研究開発機構に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付

交付

【A】独立行政法人海洋研究開発機構
38,331百万円（運営費交付金部門）
（※自己収入財源による支出を含む）

【B】研究開発事業
10,027百万円

プロジェクト研究、基礎研究
棟構が行う研究開発

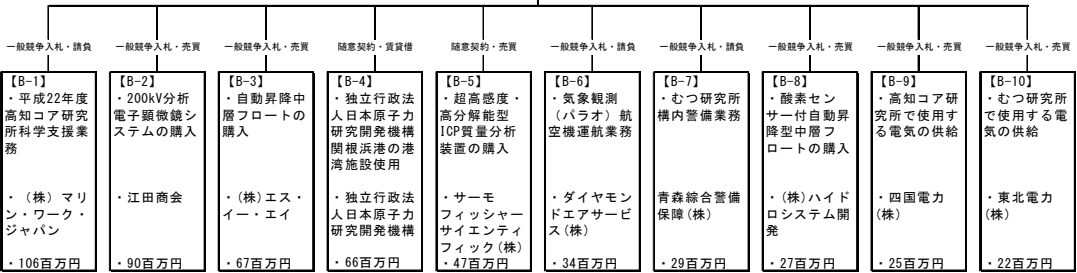
【C】運用・展開事業
26,997百万円

船舶等の運用、成果普及等、
機構の主要な事業で「研究開
発事業」以外のもの

【D】法人共通
1,307百万円

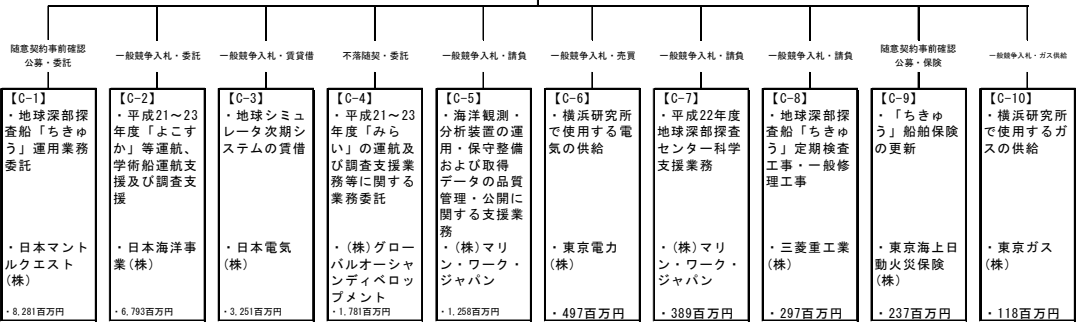
一般管理部門に係る費用及び
人件費

【B】研究開発事業
10,027百万円



事業概要 高知コア研究 所における研究 機器の運用・保守・管 理、及び海洋 コア試料の処理、保管、管 理に対する科 学支援業務	事業概要 生物組織・鉱 物薄片観察・陰 性染色による 微生物観察な どのマイクロ からサブナノ スケールに至 る微細領域解 析・分析を行 う	事業概要 海洋観測ネットワ ークを地球規模で展開 する国際科学プロ ジェクト(アルゴ計 画)に参画している 日本の実用機として、太平洋・インド 洋、南大洋に新たな 自動昇降型アルゴ フロートを投入し、 観測を実施する	事業概要 独立行政法人 日本原子力研 究開発機構が 所有するむつ 事務所根浜港 の港湾施設 の使用	事業概要 マグマ起源と マントル・地 殻進化研究の ため、鉱物や メルト包有物 に記録された 希薄な元素濃 度の分析・解 析を行う	事業概要 パラオ共和国 周辺の海洋上 を対象領域と して、ドロップ ゾンデによる 熱力学観測 を実施する	事業概要 むつ研究所の 構内及び施設 の保安管理の ため警備業務 を行う	事業概要 溶存酸素濃 度、水温・塩 分観測を行う 酸素センサー 付自動昇降型 中層フロート を使用した観 測の実験的展 開を行う	事業概要 高知コア研 究所で使用する 電気	事業概要 むつ研究所で 使用する電気
--	--	--	--	--	---	---	---	--------------------------------	--------------------------

【C】運用・展開事業
26,997百万円



事業概要 海洋研究開発 機構が策定す る年次運行計 画に基づき 「ちきゅう」 を安全かつ効 率的に運用す る	事業概要 支援母船「よ こすか」等の 船舶、有人潜 水調査船「し んかい6500」 等の深海シ ステムの運航 及び観測機器 を用いた調査 研究の支援等 に関する業務 を行う	事業概要 地球シミュ レータの計画 推進のため、 計算機環境の 状況及び計算 処理需要を鑑 み、新たな計 算機システム を導入する	事業概要 海洋地球研究 船「みらい」 の運航及び観 測機器を用い た調査研究の 支援等を行う	事業概要 機軸船舶を使 用した調査・ 研究におい て、高品質な データ提供の ため、海洋観 測・分析装置 の運用、保守 整備、データ の品質管理・ 公開に至る一 連の支援業務 を行う	事業概要 横浜研究所で 使用する電気	事業概要 「ちきゅう」 船上における 研究機器の運 用、保守及び 高知コア研 究所における コア試料等の 処理、分析、 管理等を実施 する	事業概要 法令により受 換を義務付け られた「ち きゅう」の定 期検査工事及 びその他修理 工事を行う	事業概要 「ちきゅう」 に付保してい る船舶保険の 保険期間満了 に伴いこれを 更新する	事業概要 横浜研究所で 使用するガス
--	--	--	--	--	--------------------------	---	--	--	--------------------------

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

【D】法人共通
1,307百万円

一般競争入札・請負	一般競争入札・請負	随意契約・請負	一般競争入札・請負	一般競争入札・請負	一般競争入札・請負	一般競争入札・請負	一般競争入札・請負	一般競争入札・請負	一般競争入札・請負	随意契約・請負
<p>【D-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー機、ファクシミリ保守及び消耗品 ・富士ゼロックス(株) <p>・55百万円</p> <p>事業概要 業務資料の作成に使用するコピー機及び業務連絡用ファクシミリが正常作動するように点検・整備を行う</p>	<p>【D-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀本部及び横浜研究所の清掃業務 ・共立管財(株) <p>・38百万円</p> <p>事業概要 横須賀本部及び横浜研究所の環境衛生の維持及び施設の保全をするため、日常清掃、定期清掃等の業務を行う</p>	<p>【D-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀本部通勤バス運行業務 ・京浜急行バス(株) <p>・26百万円</p> <p>事業概要 横須賀本部における従業員の通勤用として、本部と最寄駅間のバスを運行する</p>	<p>【D-4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀本部及び横浜研究所の構内警備業務 ・国際警備(株) <p>・24百万円</p> <p>事業概要 横須賀本部及び横浜研究所の保安管理、安全管理及び警備業務を行う</p>	<p>【D-5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食堂管理運営業務 ・西洋フード・コンパグループ(株) <p>・18百万円</p> <p>事業概要 役員等への福利厚生として横須賀本部及び横浜研究所の食堂運営管理を行う</p>	<p>【D-6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀本部及び横浜研究所の受付等業務 ・共立管財(株) <p>・17百万円</p> <p>事業概要 横須賀本部及び横浜研究所の受付、電話交換、郵便等取扱及び構内放送等の業務を行う</p>	<p>【D-7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度火災保険(多構内包括契約)及び賠償責任保険 ・日本興亜損害保険(株) <p>・12百万円</p> <p>事業概要 機構が所有する物品等に対して火災保険を付保すると共に、機構の事業運営に起因して発生する第三者に対する賠償責任についても保険を付保する</p>	<p>【D-8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用車の運転・管理業務 ・(株)セノン <p>・10百万円</p> <p>事業概要 機構における公用車の運転及び管理業務を行う</p>	<p>【D-9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度定期健康診断及び特殊健康診断等 ・社会医療法人財団 石心会 <p>・7百万円</p> <p>事業概要 労働安全衛生法等に定められた従業員等の一般定期健康診断(特定検査含む)、特殊検査を行う</p>	<p>【D-10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅急便処理 ・ヤマト運輸(株) <p>・6百万円</p> <p>事業概要 横須賀本部より発送される業務上必要な書類、荷物の運送を行う</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(独)海洋研究開発機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費 (物件費)	船舶等運航委託、地球シミュレータ賃借、 海洋観測等支援業務、光熱水料等	34,509			
事業費 (人件費)	事業系人件費	2,515			
一般管理費 (人件費)	管理系人件費	474			
一般管理費 (物件費)	構内清掃、構内警備、通勤バス運 行業務等	461			
一般管理費 (公租公課)	公租公課	372			
計		38,331	計		0
B.研究開発事業			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費 (物件費)	研究用資機材の購入・開発・製作、港湾 施設使用料、光熱水料等	8,968			
事業費 (人件費)	事業系人件費	1,059			
計		10,027	計		0
C.運用・展開事業			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費 (物件費)	船舶等運航委託、地球シミュレータ賃借、 海洋観測等支援業務、光熱水料等	25,542			
事業費 (人件費)	事業系人件費	1,455			
計		26,997	計		0
D.法人共通			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
一般管理費 (人件費)	管理系人件費	474			
一般管理費 (物件費)	事務機器の保守、構内清掃、通勤 バス運行業務、構内警備等	461			
一般管理費 (公租公課)	公租公課	372			
計		1,307	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

B-1.(株)マリン・ワーク・ジャパン			B-6.ダイヤモンドエアサービス(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	平成22年度高知コア研究所科学支援業務	106	役務	気象観測(パラオ)航空機運航業務	34
計		106	計		34
B-2.(株)江田商会			B-7.青森総合警備保障(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	200kV分析電子顕微鏡システムの購入	90	役務	むつ研究所構内警備業務	29
計		90	計		29
B-3.(株)エス・イー・エイ			B-8.(株)ハイドロシステム開発		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	自動昇降中層フロートの購入	67	物品調達	酸素センサー付自動昇降型中層フロートの購入	27
計		67	計		27
B-4.独立行政法人日本原子力研究開発機構			B-9.四国電力(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃貸借	独立行政法人日本原子力研究開発機構関根浜港の港湾施設使用	66	物品調達	高知コア研究所で使用する電気の供給	25
計		66	計		25
B-5.サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)			B-10.東北電力(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品調達	超高感度・高分解能型ICP質量分析装置の購入	47	物品調達	むつ研究所で使用する電気の供給	22
計		47	計		22

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

C-1.日本マントルクエスト(株)			C-6.東京電力(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	地球深部探査船「ちきゅう」運用業務委託	8,281	物品調達	横浜研究所で使用する電気の供給	497
計		8,281	計		497
C-2.日本海洋事業(株)			C-7.(株)マリン・ワーク・ジャパン		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	平成21～23年度「よこすか」等運航、学術船運航支援及び調査支援	6,793	役務	平成22年度地球深部探査センター科学支援業務	389
計		6,793	計		389
C-3.日本電気(株)			C-8.三菱重工業(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃貸借	地球シミュレータ次期システムの賃借	3,251	役務	地球深部探査船「ちきゅう」定期検査工事・一般修理工事	297
計		3,251	計		297
C-4.(株)グローバルオーシャンディベロップメント			C-9.東京海上日動火災保険(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	平成21～23年度「みらい」の運航及び調査支援業務等に関する業務委託	1,781	保険料	「ちきゅう」船舶保険の更新	237
計		1,781	計		237
C-5.(株)マリン・ワーク・ジャパン			C-10.東京ガス(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	海洋観測・分析装置の運用・保守整備および取得データの品質管理・公開に関する支援業務	1,258	光熱水料	横浜研究所で使用するガスの供給	118
計		1,258	計		118

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

D-1.富士ゼロックス(株)			D-6.共立管財(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	コピー機、ファクシミリの保守及び消耗品	55	役務	横須賀本部及び横浜研究所の受付等業務	17
計		55	計		17
D-2.共立管財(株)			D-7.日本興亜損害保険(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	横須賀本部及び横浜研究所の清掃業務	38	保険料	平成22年度火災保険(多構内包括契約)及び賠償責任保険	12
計		38	計		12
D-3.京浜急行バス(株)			D-8.(株)セノン		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	横須賀本部通勤バス運行業務	26	役務	公用車の運転・管理業務	10
計		26	計		10
D-4.国際警備(株)			D-9.社会医療法人財団 石心会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	横須賀本部及び横浜研究所の構内警備業務	24	役務	平成22年度定期健康診断及び特殊健康診断等	7
計		24	計		7
D-5.西洋フード・コンパスグループ(株)			D-10.ヤマト運輸(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	食堂管理運営業務	18	役務	宅急便処理	6
計		18	計		6

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

B(B-1~10). 研究開発事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)マリン・ワーク・ジャパン	平成22年度高知コア研究所科学支援業務	106	1	※
2	(株)江田商会	200kV分析電子顕微鏡システムの購入	90	1	※
3	(株)エス・イー・エイ	自動昇降型中層フロートの購入	67	2	※
4	(独)日本原子力研究開発機構	独立行政法人日本原子力研究開発機構根根浜港の港湾施設使用	66	随意契約	-
5	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	超高感度・高分解能型ICP質量分析装置の購入	47	随意契約	-
6	ダイヤモンドエアサービス(株)	気象観測(パラオ)航空機運航業務	34	1	※
7	青森総合警備保障(株)	むつ研究所構内警備業務	29	1	※
8	(株)ハイドロシステム開発	酸素センサー付自動昇降型中層フロートの購入	27	2	※
9	四国電力(株)	高知コア研究所で使用する電気の供給	25	1	※
10	東北電力(株)	むつ研究所で使用する電気の供給	22	1	※

C(C-1~10). 運用・展開事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本マントルクエスト(株)	地球深部探査船「ちきゅう」運用業務委託	8,281	随意契約事前確認公募	-
2	日本海洋事業(株)	平成21~23年度「よこすか」等運航、学術船運航支援及び調査支援	6,793	1	※
3	日本電気(株)	地球シミュレータ次期システムの賃借	3,251	1	※
4	(株)グローバルオーシャンディベロップメント	平成21~23年度「みらい」の運航及び調査支援業務等に関する業務委託	1,781	随意契約	-
5	(株)マリン・ワーク・ジャパン	海洋観測・分析装置の運用・保守整備および取得データの品質管理・公開に関する支援業務	1,258	1	※
6	東京電力(株)	横浜研究所で使用する電気の供給	497	1	※
7	(株)マリン・ワーク・ジャパン	平成22年度地球深部探査センター科学支援業務	389	1	※
8	三菱重工業(株)	地球深部探査船「ちきゅう」定期検査工事・一般修理工事	297	2	※
9	東京海上日動火災保険(株)	「ちきゅう」船舶保険の更新	237	随意契約事前確認公募	-
10	東京ガス(株)	横浜研究所で使用するガスの供給	118	2	※

D(D-1~10). 法人共通

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス(株)	コピー機、ファクシミリ保守及び消耗品	55	1	※
2	共立管財(株)	横須賀本部及び横浜研究所の清掃業務	38	2	※
3	京浜急行バス(株)	横須賀本部通勤バス運行業務	26	随意契約	-
4	国際警備(株)	横須賀本部及び横浜研究所の構内警備業務	24	3	※
5	西洋フード・コンパスグループ(株)	食堂管理運営業務	18	3	※
6	共立管財(株)	横須賀本部及び横浜研究所の受付等業務	17	6	※
7	日本興亜損害保険(株)	平成22年度火災保険(多構内包括契約)及び賠償責任保険	12	2	※
8	(株)セノン	公用車の運転・管理業務	10	4	※
9	社会医療法人財団 石心会	平成22年度定期健康診断及び特殊健康診断等	7	1	※
10	ヤマト運輸(株)	宅急便処理	6	随意契約	-

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表としている。